

とある、社内での昼食中～

- 中堀 「いやぁ～今年もあと少しで終わりますねえ～」
- 島谷 「今年はいい夢を見させてもらったよねえ～」
- 中堀 「そうそう！沖縄旅行という素敵な夢を！」
- 島谷 「来年もまたいい夢をみたいよねえ～」
- 社長 「いやいやっ！毎年は勘弁してくれ～」
- 島谷 「夢といえば、初夢が思い浮かぶんだけど、何で一富士二鷹三茄子っていうようになったんだろう？」

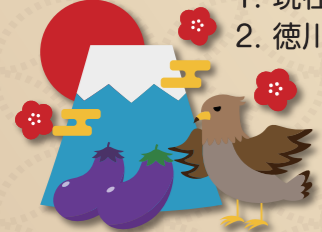


## 「一富士二鷹三茄子」とは？

江戸時代のことわざで、初夢に見ると縁起のよいもの順で、当時は夢を神仏のお告げと信じ、吉凶を占ったりしていました。新しい年を迎え、最初に眠った日の夜に見た夢は、新しい年の吉凶を占うものとされていました。

### ? なぜ富士山？鷹？茄子？

- 現在の静岡県中央部にあたる駿河国にある価値の高いものを並べたとされる説
- 徳川家康が好んだ物が富士山や鷹狩り初物の茄子だった為とされる説



諸説あるようですが、語呂合わせで  
**「富士」**は不死で長寿。  
**「鷹」**は威厳のある百鳥の王で掴み取る、手に入れる。  
**「茄子」**は“生ず”“成ず”で物事の発展を言い表しています。



### おなみに...

初夢でよいとされているのは3つだけではなかった?!  
 「四扇五煙草六座頭」縁起物は6番目まであり、「四扇」「五煙草」「六座頭」とされています。

**扇** 末広がりであることから子孫繁栄や商売繁盛の意味。

**煙草** 煙が上にのぼることから縁起が良いの意味。

**座頭** 髪の毛を剃った盲人のことを指し、「毛が無い」ことから「怪我無い」とされ、家内安全を願う意味を表しています。

来年も貴方様へ最高のサービスを成せるよう、そして子供の成長を願い、家内安全であり続けられるよう、私は「茄子」と「座頭」の夢を元旦の夜に見たいと思います!! 枕の下には、イメージ出来るよう写真を入れ、早めにお布団に入りたいと思います。

餅食がえば  
 大和魂

お正月、大和魂を読みながら餅を食べると、読むのに夢中になり、ついつい食べ過ぎてしまうので、気を付けましょうね。の意。



2023年も大名、大和魂を御最頂頂き、ありがとうございました。  
 貴方様にとって、2024年も最高の年で迎えますよう、大名一同心よりお祈り申し上げます。  
 新年もどうぞ宜しくお願い致します。



今号の大和魂はいかがでしたか？ 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。

件名:ニュースレター返信と入力して送信して下さい。



有限会社 **大名**

最新情報はホームページ <https://daimyou.com/>

広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp

TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

# 届けますっ! 大和魂 2023年12月 Vol.57

## 経営理念

有限会社大名は「届けますっ!大和魂」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します



こんにちは、島谷貴子です。今年もあと少しとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

島谷家では **今年の年越しそばを子供たちと作ることにしました!!**



### 蕎麦の始まり

鎌倉時代から、蕎麦粉を湯で練って団子状にした「蕎麦がき」が食べられるようになり、現在のような麺状の蕎麦が食べられるようになったのは、江戸中期頃かそれより少し前だと言われています。



蕎麦の歴史について Vol.15参照

### 蕎麦の種類

<b>更科そば</b> 一番粉と呼ばれる白色のそば粉を原料として作られています。香りが少なく、ほのかな甘みがありのと越しがいいとされています。	<b>藪そば</b> ソバの実の甘皮による緑がかった麺の色、と醤油の味が強く塩辛いそばつゆが特徴とされています。	<b>砂場そば</b> 甘くて濃いめのそばつゆが特徴とされています。
<b>田舎そば</b> 粗くひいたそば粉で作った、太めで黒っぽく味や香りが濃いと言われてます。	<b>十割そば</b> そば粉が十割のお蕎麦で、ザラザラした食感や歯を軽く当てただけで麺が切れる食感も特徴的といわれています。	<b>二八そば</b> そば粉が八割・小麦粉二割麺にしなやかさが加わり、なめらかな食感が特徴的。小麦粉を入れて作るため、時間が経過しても切れにくく作りやすいといわれています。

### 家族会議

初めての蕎麦作りなので作りやすい「二八そば」に決定しましたっ!

### 二八そばの作り方



長いお蕎麦とはなりませんが、美味しくペロッと食べました。修学旅行で食べられなかった長女も一緒に、更に美味しい年越しそばを作りたいと思います。そしていい新年を迎えられますように...

完成!!



こんにちは、中堀明美です。8月号に続き、種々多様の進化をして

いった当世具足の胴について語らせて頂きます。

今号はこちらです

### 胴の変遷

弥生・古墳時代

短甲 挂甲

平安～室町時代

胴丸・腹巻・腹当

戦国時代～

当世具足の胴

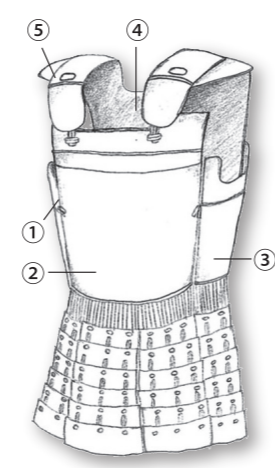
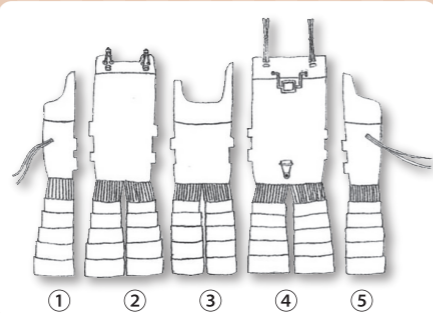


### 雪の下胴・仙台胴

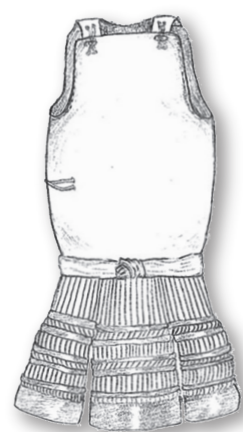
後北条家に仕えていた甲冑師（明珍一派）が作成しました。鎌倉雪下（現在の神奈川県）に住んでいたことから、「雪の下胴」と言われるようになりました。伊達政宗が明珍一派に甲冑制作を依頼し、防御力にすぐれた堅固な作りに関心した政宗。専属の甲冑師として迎え入れ、雪の下胴が採用され、広く知られるようになりました。仙台藩で広く愛用されたことから、「仙台胴」とも呼ばれています。

#### 【特徴】

前面に1枚、胴の左側に1枚、背面に1枚、胴の右側に2枚というように、計5枚の鉄板で構成されている蝶番ではなく、栓差しにして留めています。保管し、移動の際に運びやすくするために、解体しやすく作られています。防御力にすぐれた堅固な作りだった半面、かなりの重量がありました。

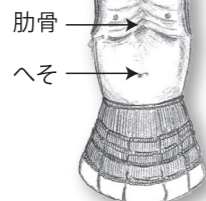


### 仏胴



仏像の胸のように、継ぎ目が見えない作りになっている甲冑（鎧兜）の胴を「仏胴」と言われています。桃山から江戸初期にかけて流行しました。仏胴は、構成の違いにより大きく分けて二種類あります。

#### 仁王胴



1つ目は、腹面に1枚、背面に1枚の鉄板だけを用いる「一枚張打出胴」です。この様式の代表例のひとつ「仁王胴」は、肋骨、へそなどが打ち出しています。

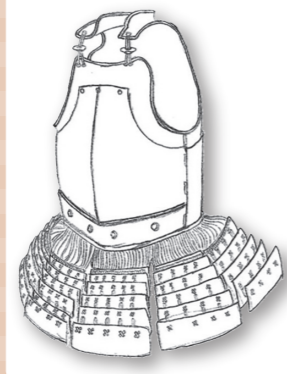
#### 胸取仏胴



2つ目の種類は、桶側胴の継ぎ目を漆で埋めるなどして、表面を滑らかにした胴です。表面に漆などが塗られた胴を、「塗上仏胴」、皮や織物で包んで滑らかにしてある胴を、「包仏胴」といい、心臓や肺など致命傷となる胸部に胸板を取り付けた胴を「胸取仏胴」と言われています。

### 南蛮胴

南蛮貿易によりもたらされた西洋甲冑を真似して作られた胴を「南蛮胴」と言われています。基本的に一枚張打出胴ですが、前胴の中心部を縦に高く盛上げられているところが特徴です。鉄砲による戦闘が中心になっていたヨーロッパでは、銃弾などが当たっても平気なように、非常に重く、頑丈な作りとなっていました。西洋人に比べて体格の小さな日本人は、ひと回り小さく作り、「和製南蛮胴」を作り上げました。



心臓や内臓を守る役割を果たしていた胴は、時代の戦い方の変化により発展を遂げ、強い防御能力を備えました。当世具足の胴は、防御力だけではなく、動きやすさに加え、装飾もされ、甲冑師たちの集大成の作品だと思いました。



今年「中国地方三大謀将」にタイムスリップしています。今号は三本の矢で有名なこの方にタア～イムスリップ！



安芸の国人領主の次男として生まれた元就。10歳の時に父が亡くなると、家臣に領地を横領されますが、養母の助けを受けながら成長します。20歳の時、兄が亡くなり、甥の幸松丸の後継人となります。しかし、その7年後、幸松丸が亡くなり、27歳で毛利家の家督を継ぐことになります。

### 大内家と尼子家に挟まれた毛利家

安芸国（広島県西部）の国人領主だった毛利家は、周防（山口県東部）・長門（山口県北西部）・石見（島根県西部）を支配していた大内家と出雲（島根県東部）・伯耆（鳥取県西部）・備中（岡山県西部）を支配していた尼子家に挟まれ、どちらかに従属していくしか道がありませんでした。まだまだ勢力の小さな元就は大内家と尼子家の間をうまく立ち回ります。やがて、大内家の援助を受け、徐々に勢力を伸ばしていった元就は遂に安芸一国を納める領主となります。



### 敵のスパイを逆に利用

勢力を伸ばしてきた元就を警戒してきた大内家の実権を握っていた陶晴賢との間で緊張状態が高まります。元就の元にスパイとして家臣を送ってきた晴賢の計略を読んだ元就は、その家臣に嘘の情報を流し、大内家の有能な武将を粛清させます。更には、「厳島（宮島）に陶晴賢に城を築かれては危険な状態になるな・・・」と情報を流し、陶晴賢軍を厳島に誘い込み、殲滅させることに成功します。陶晴賢を失って混乱状態にある大内家の旧領を落とし版図を広げることになります。

### 謀将の師匠!?

謀に長けていた元就。元就が勢力拡大にあたって実行してきた中に、同じく謀将として有名な尼子経久のやり方に似ている部分があります。元就は自身の次男を吉川家、三男を小早川家に養子として出し、親族にすることで勢力を拡大していきました。尼子経久も同様に自身の子供達を近隣の有力国人に養子に出して拡大していきました。吉川、小早川を押さえることで安芸国を得ることに繋がっていきます。更に小早川家の水軍との繋がりが、村上水軍とも繋がりが、厳島の戦いを有利に進めることにも繋がっていきます。二人の謀将の直接的な繋がりに関して詳しいことは分かりませんが近隣の名将を研究して活かした元就は、遂に師匠!?! 亡き後の尼子家を滅ぼし、中国地方8カ国の太守となりました。

元就と尼子経久が共通しているのは、謀略の部分だけではありません。室町幕府政治の腐敗により、民が困窮している現状から、民を大事にする統治を行った尼子経久。国人が心を一つに力を合わせれば何事も成し遂げられるという意味の「百万一心」という言葉を残した元就。城の拡張工事が難航している時に人柱を立てたのを止め、この言葉を掘った石を埋めたところ、工事が無事に終わったそうです。民の命を大切にしている元就らしいエピソードです。その他にも身分の低い者にも分け隔てなく、声を掛けたり、餅や食べ物配っていたそうです。元就、経久が行った沢山の謀略は民の笑顔を守る為のものだったのかもしれないね。

